

大宮図書館移転開館7周年記念展示

妹・佐代子

姉・民子

—妹から見た歌人・大西民子の素顔—

大西民子にとって、長年共に暮らしてきた妹・菅野佐代子は特別な存在でした。今回の展示では、佐代子のエッセイ「わが家のシレーヌ」をもとに、妹から見た姉・民子の素顔を読み解きます。

【期間】

2026年

5.2(土) > 6.30(火)

会期中無休

【場所】さいたま市立大宮図書館
3階 文学資料コーナー





おおにし たみこ
歌人 大西 民子
(1924 - 1994)

戦後を代表する女流歌人のひとり。
岩手県盛岡市出身。
岩手県立釜石高等女学校(現・岩手県立釜石高等学校)の教員を経て、25歳の時に大宮へ移り住み、亡くなるまでの40年間、歌人としての活動を続けました。
第一歌集『まぼろしの椅子』は自身の日常生活を赤裸々に詠んだ内容で注目を集めました。
『風水』で遼空賞を受賞。紫綬褒章受章。享年69。
1996年に大西民子の関係者より原稿や本などの資料約1万点が、大宮市(現・さいたま市)に寄贈されました。

■ おおみやデジタル文学館

大西民子の作品や年譜をはじめ、直筆資料や音声資料なども、インターネットを通じていつでも閲覧することができます。より多くの方に大西民子を知っていただければ幸いです。



■ 文学資料コーナー

2019年5月7日、大宮図書館の移転開館に伴い、引き続き大西民子関係資料の整理・保管を行うとともに、新たに文学資料コーナーを設けました。ここでは、大西民子を中心に郷土ゆかりの文学者たちの企画展を行うほか、関連イベントを開催するなど、さいたま市ゆかりの文学をご紹介します。



【場 所】 さいたま市立大宮図書館 3階 文学資料コーナー

【休 館 日】 年中無休(特別整理期間のみ休館)

【開館時間】 9:00-21:30

【連絡先】 048-643-3701

【交 通】 大宮駅東口から徒歩約15分

大宮駅東口から駅前通りを東へ進み、旧中山道とのスクランブル交差点を過ぎ、大宮区役所(北)交差点を右折し、約600メートル先、左側にあります。



さいたま市立大宮図書館

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124-1 電話番号：048-643-3701